

無理なく、着実に、安全な情報セキュリティを ～技術者が居ない環境でも～



教授 林 隆史

[概要]

○技術だけでなく運用方法も重視

本研究は情報セキュリティガバナンスを構築するための技術だけではなく運用方法に重点をおいたスキームの実用化を目指している。従来のセキュリティに関する研究・開発がセキュリティ技術に偏っていたのに対して、本研究では、セキュリティの専門知識を有していない職員で構成される職場におけるセキュリティマネジメントを支援する方法として、組織のセキュリティの状態とあるべき状態を可視化する方法の実用化に向けた検討を行う。

○セキュリティ技術者が居なくても

本研究の成果が実用化されれば、セキュリティ関連技術者が不足している基礎的自治体など、知識社会の基盤部分のセキュリティガバナンス構築に寄与することが期待される。

[実用化の可能性]

○高セキュリティを低コストで

今までの研究結果から、セキュリティの状態やあるべき姿を可視化する方法については、その雛形ができつつある。しかしながら、実用的なスキームを開発するためには、実証実験などによる検討が必要で不可欠である。自治体動向や国の制度についての継続的な動向調査も実用化に必要である。本課題の成果が実用化されれば、高セキュリティ低管理コスト情報システムの実現に寄与するものと考えられる。

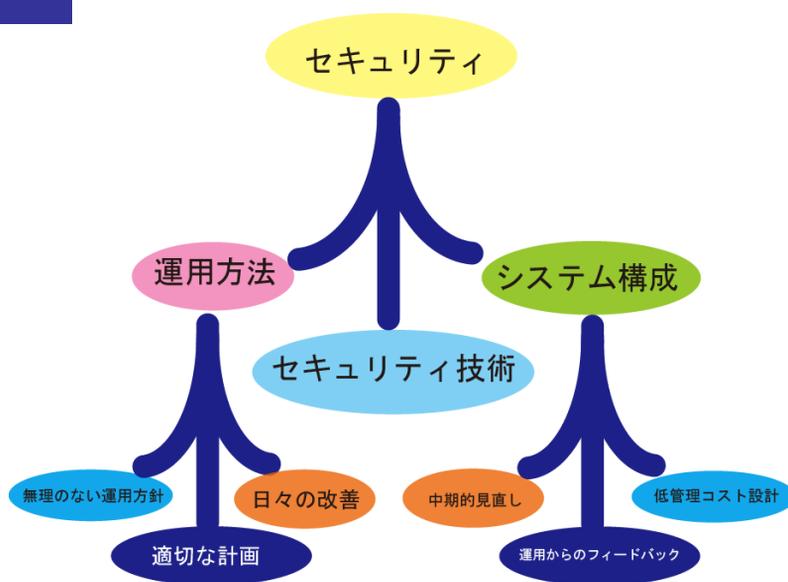
[UBICからのメッセージ]

○林教授は自治体における実証実験、研究室における実証実験、複数の自治体に対するアドバイザーの実績があるので、本研究が実用化された時の有用性は十分あると考えられます。

[研究概要図]



情報セキュリティの確保
 ・技術面だけでなく運用方法も検討
 ・セキュリティ技術者が居なくてもOK



セキュリティフレームワークで社会安全・利用者安心を可能に